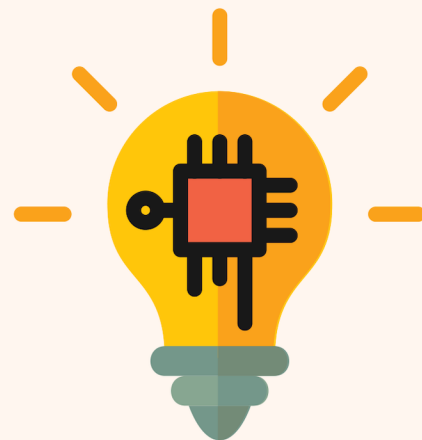


生成AIを研究支援に活用しよう

臨床疫学ワークショップは、講師の先生をお招きし、講義およびワークショップを通じて臨床研究に関する知識・技術の修得を目的としているイベントです。

昨今、ChatGPTをはじめとした生成AIの活用に注目が集まっています。生成AIを正しく活用すれば、どの施設・地域で働いていても、その恩恵を享受できる可能性があります。

今回は、岡山大学地域医療共育推進オフィスとの共催企画です。精神科領域や地域医療に関わりながら研究に取り掛かりたい初学者が、生成AIを研究支援ツールとして活用できるような内容として構成しています。



日時・場所

2024年1月6日 (土) 13時~17時
岡山大学鹿田キャンパス 鹿田会館講堂
(ハイブリッド開催)

対象

- ・精神科の臨床研究に興味のある方
- ・地域医療に従事し臨床研究に興味のある方
- ・その他、職種を問わず、臨床研究に興味のある学生やベテランの方も歓迎します

参加費/定員

無料/現地、オンライン各30人ずつ

講師

松井 健太郎 氏

国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

吉田 和生 氏

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門

香田 将英 氏

岡山大学学術研究院医歯薬学域地域医療共育推進オフィス

プログラム内容

- ・JYPOの紹介
- ・イントロダクション (香田 将英 氏)
「生成AI総論、研究に活用する際の注意点」
- ・workshop① (松井 健太郎 氏)
「生成AIを研究に活用してみよう①」
- ・workshop② (吉田 和生 氏)
「生成AIを研究に活用してみよう②」
- ・成果発表、質疑応答

申し込み (事前申込)

申し込み締切り：1/5(金)10時まで
定員に達し次第受付を終了します

